

まくら部会長	池田 努 様
アサギ(株)取締役東京支店長	浅黄 利洋 様
日本ふとん製造協同組合専務理事	只野 悟 様
富士ベッド工業(株)取締役営業部長	小野 弘幸 様
まくら(株)代表取締役社長	河元 智行 様
(一財) ボーケン品質評価機構東京主任	丸山 智生 様

(一社) 日本寝具寝装品協会専務理事 奥谷 孝良

## JBA 第 5 期 : 第七回まくら部会 議事録

記

1. 開催日時 平成 30 年 10 月 23 日 (火) 13:30~16:30
2. 開催場所 (一社) 日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内  
東京都中央区日本橋小舟町 7-2 小舟町 243 ビル 7F ☎ 03-6661-0213

### 3. 議 題

(1) まくら製品の「高さ」測定方法について

- ・丸山委員より試験方法についての説明後に、【水平法】と【傾斜法】について検討を行い、【水平法】を標準試験方法とすることに決定した。  
具体的試験方法は下記の通り。

#### 【水平法】

- ①水平に配置した人頭模型(大型、JIS T 8133 準拠)の後頭部がまくら中央部なるように設置
- ②人頭模型を介して、人頭模型の後頭部がまくらに接触したときの初期高さを測定する。
- ③人頭模型を介して、100N まで、100 mm/分の速さで垂直力を加え、直後に垂直力を除去する。
- ④③の直後、同様に、52N(5.3 kg) まで垂直力を加え、52N を 20 秒保持した後の高さを測定する。

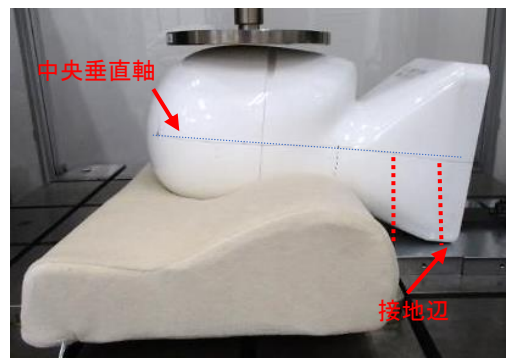
#### 【傾斜法】

- ①人頭模型の後頭部がまくらの中央部になるように設置する。なお、人頭模型の底面の 1 辺が接地するようにまくらに立てかけるように配置する。また、人頭模型の頸椎部とまくらとの隙間は極力少なくなるように配慮する。
- ②人頭模型の額部に 100N※まで、100 mm/分の速さで垂直力を加え、直後に垂直力を除去する。
- ③②の直後、同様に 52N(5.3 kg)※まで垂直力を加え、52N を 20 秒保持した後の中央垂直軸上の 2 点の高さを測定し、まくらの高さを算出する。

※人頭模型の底面の 1 辺が接地した時の後頭部の質量 0.6kg を考慮



(水平法 写真)



(傾斜法 写真)

(2) 高さ表記について

- ・数値（c m）ではなく、「高・中・低」で表記する。何段階の区分けにするかは追加試験の結果を踏まえて検討する。

(3) 追加試験について

- ・前回の試験品を考慮して、詰めもの素材の違うものなど、10 点程度を選出して試験を行う。（河元委員が候補選出）

(4) 硬さ表記について

- ・高さ測定試験の「初期高さ」と「測定試験の高さ」の数値差（へこみ率：仮称）から硬さを区分けすることができるのではないかとの意見があり、追加試験の結果も加えて検討を行う。また、詰めもの素材での区分けも併せて検討を進める。

(5) 入会金及び年会費について

- ・まくら J B A ラベル使用に際して、まくら製造企業の多くが小規模企業であることから、入会金及び年会費の改定が必要と考え、改定案に対する意見聴取を行った。意見としては、提示された案で問題ないとのことであった。

(課題)

- ・追加試験の品目を決め、早急に試験を実施してもらう。（ボーケンにて実施）
- ・11 月 12 日・14 日の「J B A ラベル説明会」での意見等を参考に、表示規程の最終版を決定する。

\* 次回開催予定：12 月 12 日（水） 13：30～15：30 J B A 事務所にて

以上